



アドビシステムズ株式会社  
141-0032 品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

## アドビ、モバイルマーケティングとアプリ開発を効率化

主要アプリテクノロジープロバイダーとの提携により

モバイルアプリの開発および管理向けエンドツーエンドワークフローを提供

※当資料は、2015年3月10日に弊社米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳です。

【2015年3月11日】

米国ユタ州ソルトレイクシティ発（2015年3月10日）Adobe（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、アドビが米国で開催している年次デジタルマーケティングカンファレンス「Adobe Summit 2015」において、統合型モバイルアプリフレームワークを含む Adobe Mobile Services 向けの大幅な機能拡張を発表しました。Mobile Services は、アプリの開発、ユーザー獲得、分析、エンゲージメント強化に至るまでのモバイルアプリのライフサイクル全体を大幅に簡素化する、Adobe Marketing Cloud のコアサービスです。Mobile Services は、業界初かつ最も包括的なソリューションで、マーケターが分断された個々のソリューションに頼らなければならない現状を排除し、アプリ開発と管理向けの統合的なアプローチを提供します。Adobe Mobile Services を補完するため、アドビはモバイルアプリのフレームワークに6社の最先端アプリテクノロジープロバイダーとそのツールを統合し、顧客がアプリの機能拡張のためにパートナーエコシステムを活用できるようにしました。

アドビのモバイルストラテジー担当バイスプレジデントであるマット アセイ（Matt Asay）は、「[Adobe Digital Index のデータ](#)が示す通り、モバイルデバイスの利用者数は増加の一途をたどっています。しかし、モバイルアプリにおける優れたエクスペリエンスの提供は多くのマーケターにとっていまだに困難であり、マーケターは特定のニーズに満たすために多様なモバイルツールを組み合わせることに苦戦しています。Adobe Mobile Services は、このプロセスを大幅に簡素化し、マーケターによるアプリ開発と最適化を容易にします」と述べています。

Adobe Marketing Cloud に最先端のアプリテクノロジーを提供する Adobe Mobile Services のモバイルアプリフレームワークは以下の通りです。

- **アプリ開発**：[Adobe Experience Manager Apps と PhoneGap Enterprise](#) により、企業は HTML、CSS、Javascript といった Web テクノロジーを使用し、さまざまなモバイルプラットフォームで動作するアプリの作成が可能となります。モバイルアプリは、Adobe Experience Manager にネイティブ統合することで、複数のアプリストア、細分化されたオペレーティングシステム、デバイスのサイズについて懸念することなく、あらゆるアプリで一貫したコンテンツ管理を実現することができます。また、Adobe Experience Manager Apps により、アプリ配信後でも、開発者のリソースに負担をかけることなく、マーケティングと事業担当部署がアプリのコンテンツと機能の両方をアップデートし、デバイスに配信できるようになります。Lonic 社の HTML5 ソリューションとの統合により、開発者はデザイン性に優れたアプリを容易に設計することができます。

- **ユーザー獲得**： Fiksu との提携と Adobe Analytics との連携により、モバイルアプリの新規ユーザー獲得を支援します。アプリのプラットフォームは、広告、検索、インストールなどを通じて、ブランド認知の促進と計測を可能にします。また、Adobe Target の A/B テスト対応により、デバイスの種別やオペレーティングシステムなどのモバイル特有の基準に基づいてオーディエンスをより詳しく識別することで、マーケターによるコンテンツの最適化および効率的なターゲティングをサポートします。Kochava 社のソリューションとの統合により、企業はあらゆる広告のコンバージョンおよびモバイル広告全体の効果を把握することができます。
- **アプリ解析**：[Adobe Analytics とモバイルアプリ](#) との連携によって、マーケターはアプリの起動頻度、アプリ内のユーザーの行動、ダウンロードに貢献したリンクなどのモバイルアプリの使用に関する豊富なインサイトを得られます。Adobe のモバイル SDK を基に構築されたアプリは、標準機能を利用してユーザー体験を臨機応変に変化させることができ、アプリ内メッセージを送ることも可能です。Criteo のアプリパフォーマンス管理ソリューションを統合することで、企業は基本的なクラッシュレポート以外の詳細なエラーやユーザーとのやりとりも把握できるようになります。さらに、appFigure のアプリストア分析プラットフォームとの統合により、企業は売上やダウンロード数、アプリのランキングなどの重要なデータを自動的に取得、可視化することも可能です。
- **ユーザーエンゲージメント**： Adobe Analytics で GPS や iBeacon をネイティブサポートすることで、モバイルユーザーはブランドと接触した瞬間に的確に関連するコンテンツを受け取れるようになります。Vibes との提携により、アプリのユーザーとのエンゲージメントを強化し、コンテキストに合ったエクスペリエンスとプロモーションを届けるための、包括的ツール群を提供します。モバイルユーザーとのエンゲージメントを強化するためにデジタルパスを使用し、印刷したクーポンやオフナー、搭乗券に置き換えるマーケターが増加しています。Vibes のモバイルウォレット機能と Adobe Campaign の統合により Apple の Passbook や Google Wallet でパーソナライズ化された「パス」を提供する機能を提供します。

#### Adobe Marketing Cloud について

Adobe Marketing Cloud は、様々なデバイスとデジタルタッチポイントを通じてマーケティングコンテンツの高度なパーソナライゼーションを実現することでビッグデータを駆使し、顧客と見込み客への効果的なリーチとエンゲージメントを支援します。緊密に統合された 8 つのソリューションにより、分析、Web/アプリのエクスペリエンス管理、テスト/ターゲティング、広告、動画、オーディエンス管理、ソーシャルエンゲージメント、キャンペーン編成に重点を置いた、包括的なマーケティングテクノロジーをマーケターに提供します。また、Adobe Creative Cloud との連携機能により、あらゆるマーケティングチャンネルにおいて、クリエイティブアセットを容易に活用できます。Adobe Marketing Cloud は、Fortune 50 企業の 2/3 をはじめ、世界中の多くの企業に採用されており、そのトランザクション処理件数は年間 30 兆 4,000 億件以上に上ります。

#### アドビ システムズ社について

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#) に掲載されています。

Adobe and the Adobe logo and Adobe Marketing Cloud, Adobe Experience Manager, PhoneGap, Adobe Analytics, Adobe Target and Adobe Campaign are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

© 2015 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.